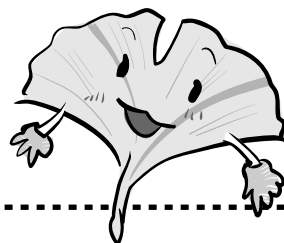


「より良い交通」のあり方を考える

地域検討会 報告書



山口市都市整備部都市計画課交通政策室

目的

地域住民の方々に、地域の実情やニーズをきめ細かくお伺いし、安心して住み続けられる、持続的な交通づくりについて一緒に考えていただくため、市内11会場で地域検討会を開催しました。

参加者 市民(自由参加)

開催日・場所・参加者数

開催日	対象地域	会場	参加者数
10/4(水)	徳地(柚野)	柚野支所	32名
10/5(木)	徳地(出雲・八坂)	山村開発センター	9名
10/6(金)	徳地(島地・串)	島地支所	34名
10/18(水)	小郡	小郡総合支所	24名
10/19(木)	阿知須	阿知須公民館	8名
10/20(金)	秋穂	秋穂総合支所	15名
11/9(木)	山口(嘉川・佐山)	嘉川公民館	26名
11/10(金)	山口(陶・鑄銭司・名田島・秋穂二島)	名田島公民館	16名
11/15(水)	山口(仁保・小鯖・大内)	大内公民館	29名
11/16(木)	山口(宮野・大殿・白石・湯田)	大殿公民館	11名
11/17(金)	山口(吉敷・平川・大歳)	大歳公民館	26名

開催時間 18:30~20:30

計230名

状況

参加者の多くが自分で車を運転される方でしたが、地域の高齢者や、自分が高齢で運転できなくなった時の足の確保を考えなければならないという意識が高く、活発な意見が交わされました。

公共交通の現状については、満足している地域が少なく、公共交通の無い地域からは、新たなコミュニティ交通の展開が、また、公共交通のある地域からも、ダイヤ・接続の改善、増便、ルート延長などについて意見・要望がありました。

運賃については、一部の地域から高いという意見がありましたが、全体的には、利便性が高ければ、必ずしも低料金でなくて良いという意見が多く見られました。

また、交通事業者からは「他の自治体の事例などを参考にコミュニティタクシーを検討してはどうか」という意見や「行政による公共交通の運行や関与が、自由競争、市場原理を崩し、民業を圧迫している」といった意見が出されました。

地域主体の交通づくりについては、市民としてこれまで経験が無いということもあり、具体的に誰が組織をつくり、運営していくのかという点から、踏み込んだ議論には至りませんでした。

今後は、地域の実情に応じ、地域が主体となった新たな交通システムの導入や、現行の公共交通の改善など検討テーマを絞り込み、具体的な方策を話し合うため、勉強会を開催していきます。